

大学ICT推進協議会 (AXIES) 紹介

<https://axies.jp/>

大学ICT推進協議会

2026/7

AXIES 事務局長 喜多 一 (京都大学 名誉教授)

大学におけるIT環境の各要素の現状

- **情報基盤**
 - ネットワーク、クラウド、サーバなど整備はしたが更新が課題
 - 高度化する認証系
 - 以前のような企業におけるシステムに対する優位性はない
 - セキュリティ課題も多い
- **教育支援システム**
 - LMSはほぼ整備済
 - 教育IT支援技術(Ed-Tech)についてはまだまだ
 - スマホ所持という状況の未反映
 - 教育コンテンツについての流通の必要性
- **事務支援システム**
 - パッケージで済むものは導入が進む
 - RPAの導入への試行中
- **研究支援システム**
 - 研究公正のシステムについては、整備が進行
 - オープンサイエンスも大きな課題
- **図書館システム**
 - 検索システムは整備
 - 電子ジャーナル、オープンアクセス等、情報化への多くの課題
- **経営支援システム**
 - IRシステムなどの利用はまだまだ
 - 大学間での情報交換の必要性
- **統合システム**
 - 我が国では、未着手
- **生成AI**
 - 課題として急浮上

コロナ禍を経て
業務は拡大

- **業務の種類・業務量は増え**
- **予算・スタッフなどは増えない**

解決方策



大学間の横の繋がりを利用して情報交換を行い、効果的な施策を実施

大学ICT推進協議会 (AXIES) とは？

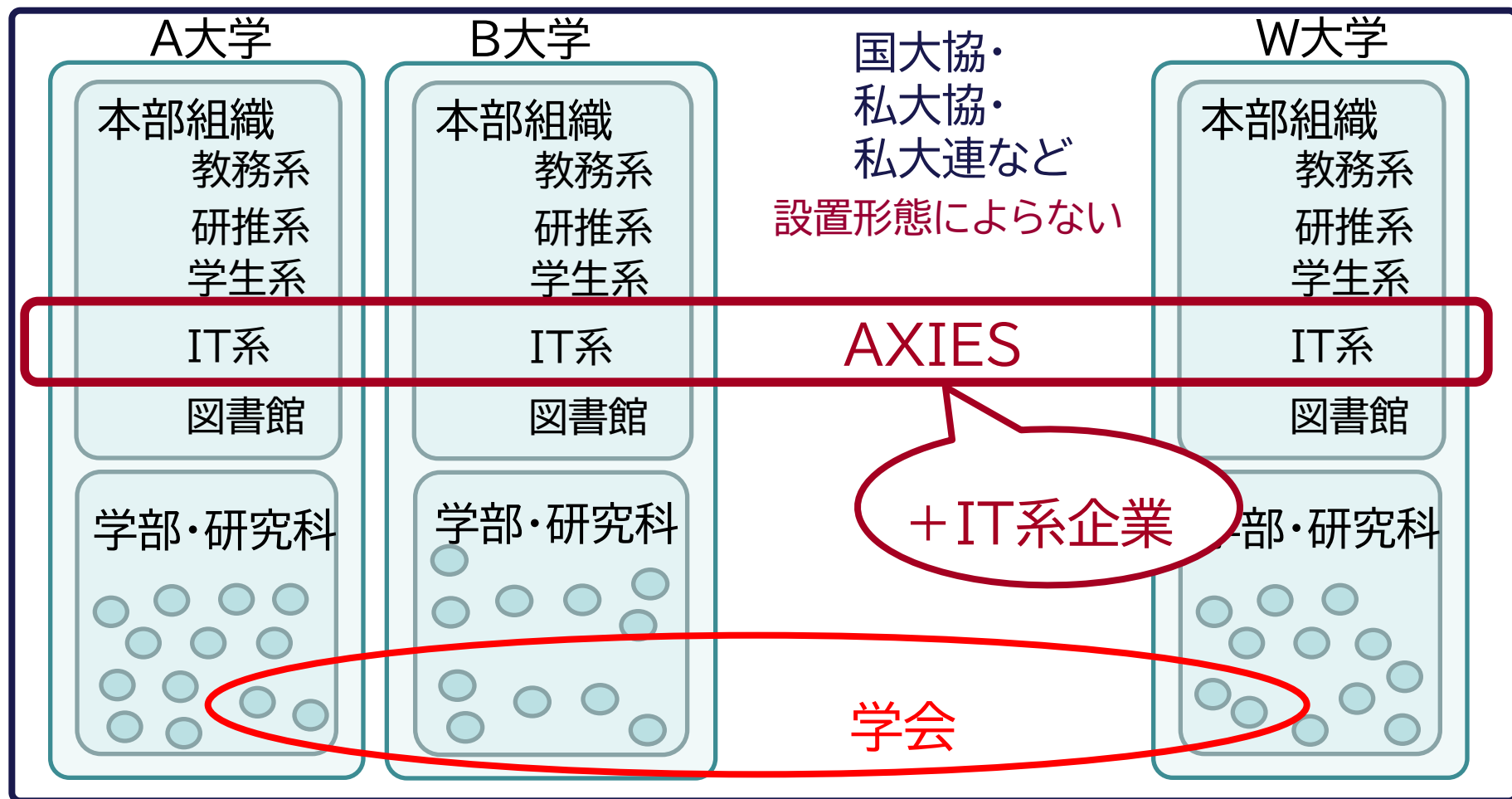
(Academic eXchange for Information Environment and Strategy)

- ビジョン
 - ICTを利用した高等教育・学術研究機関の教育・研究・経営の飛躍的強化
- ミッション
 - ICT 利活用による
 - 効果的・多様な教育の実現
 - 研究推進環境の構築
 - 機関経営の改善
- ストラテジ
 - 共通技術基盤・組織基盤の構築・維持
 - 方法論と支援するツール群の開発・共有
 - 教員・職員・学生のICT利活用力強化
 - 幹部・サポートスタッフの養成とキャリア形成



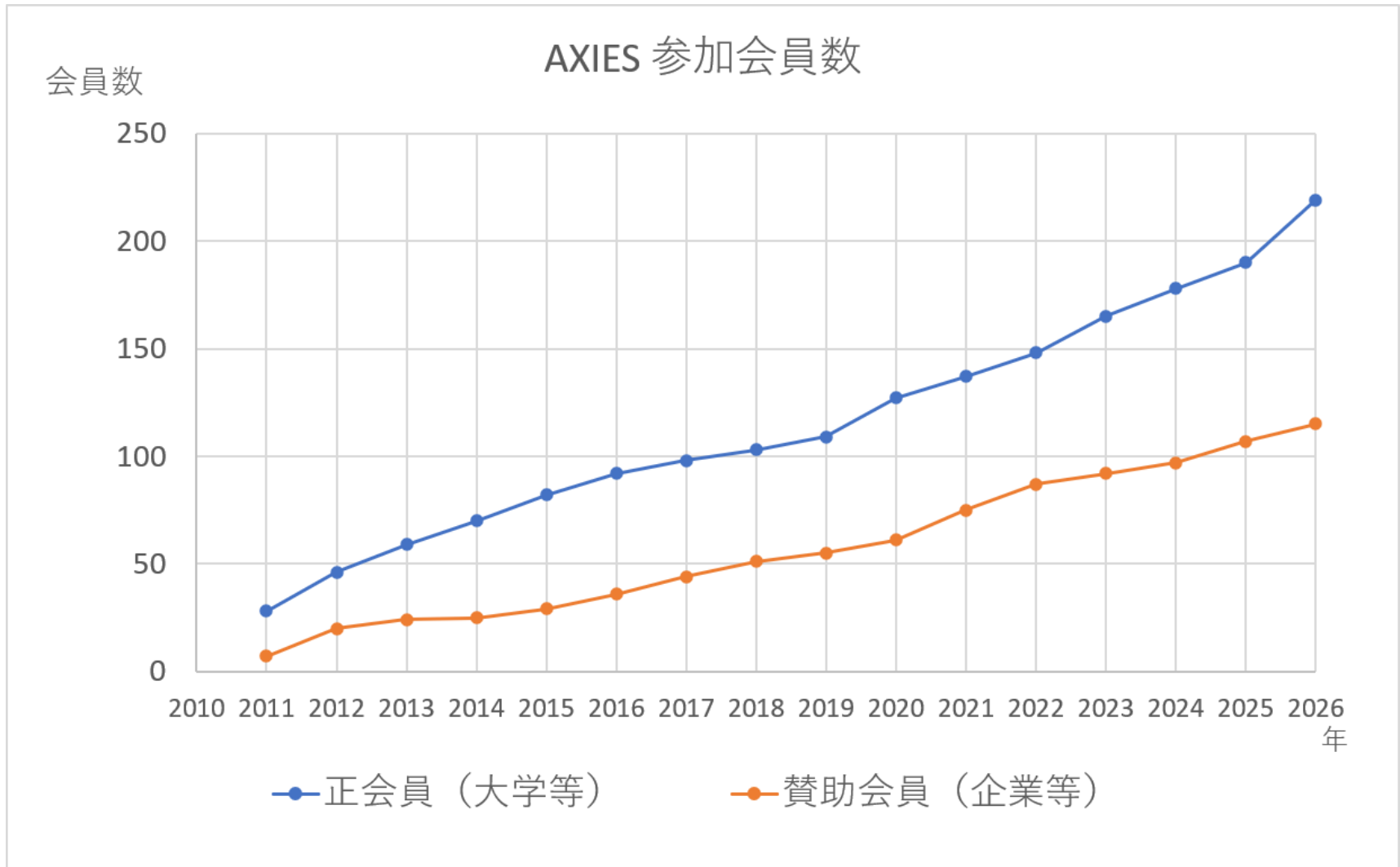
正会員:219機関
賛助会員:115社
(2026年7月22日時点)

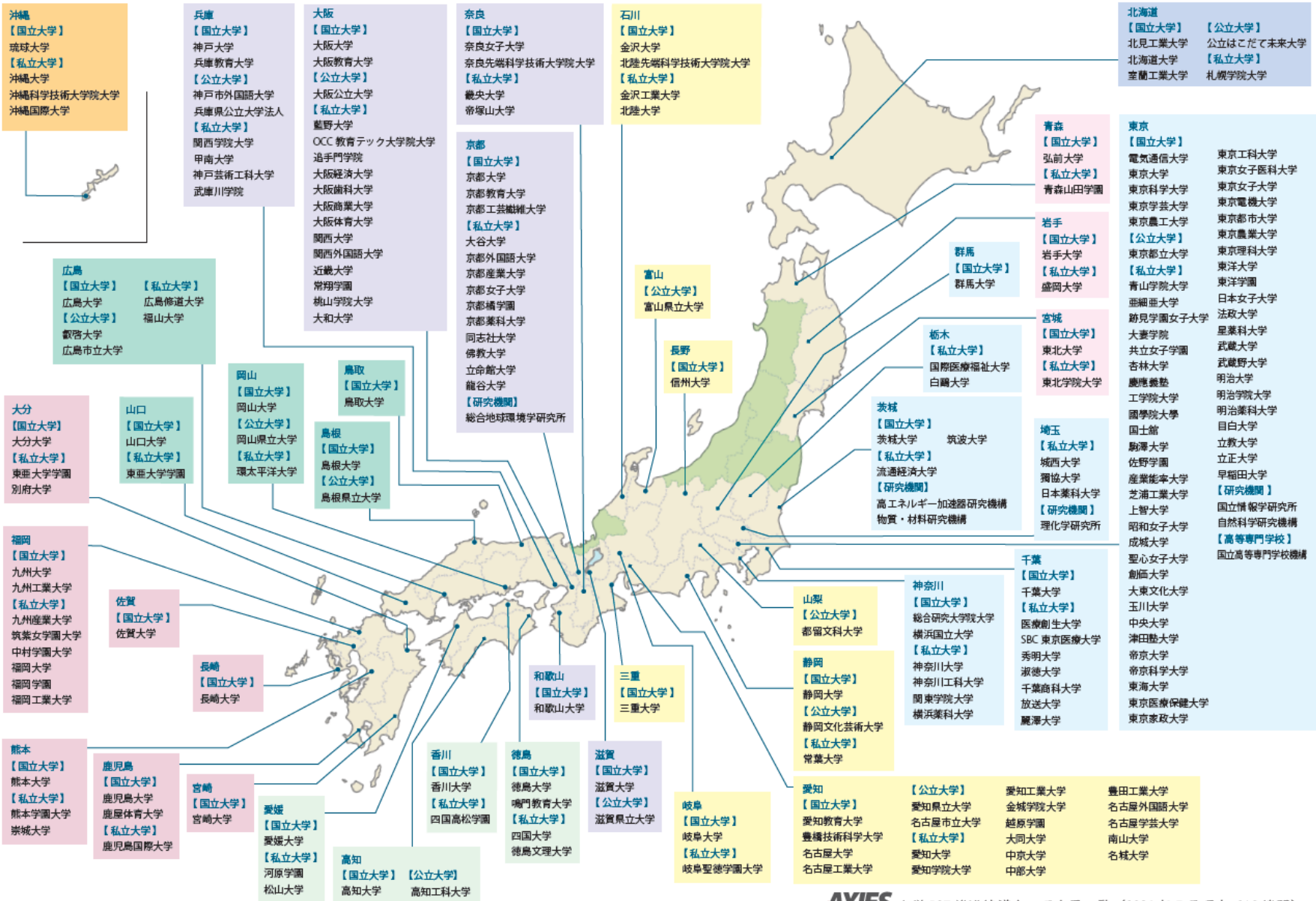
大学の設置形態によらない経営者・実務者の繋がり



● 教員・研究者

AXIESへのご参加





主な事業活動

会員機関の**ボランティアメンバ**が主導

参加者、
毎年
1000人超

現在、
16部会

年次大会

各大学における取り組みの発表・議論や最新技術展示を行う
大規模な研究集会の開催

会員間情報共有

最新動向・共通課題・ベストプラクティス・国際動向等の情報共有(会誌・ウェブ・Twitter等を利用)

スタッフディベロップメント

ウェブセミナー・研修会・講演会・分野別研究集会等への参加を通じた情報系職員研修

国際連携・協調

米国EDUCAUSE, カナダCUCCIO
英国JISC, 豪州CAUDIT, オランダSURF との連携・共同事業

大学ICT推進協議会 AXIES

国内連携・アドボカシー

各大学・センター等が別途加盟する各種団体との連携や政策提言

部会活動

個別の課題を検討・実施するために部会を設置、必要に応じて新たな部会の設置や部会の改編

研究・調査

会員相互間の研究開発・実証実験・共同調査の実施と支援

標準化・共通化

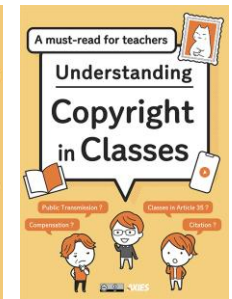
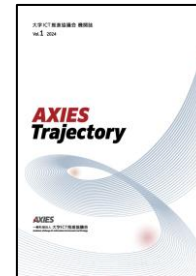
情報技術に関する標準化・共通化, オープンソースソフトウェア利活用, ソフトウェアライセンス団体交渉

ICT利活用の調査

情報技術利活用推進に関する経年変化調査

AXIES の活動から

- AXIES 年次大会
 - 1000 人規模の参加者, 論文発表, パネル討論, セミナー, 展示など
 - AXIES 2026, 12/9~11, 広島市**
- 機関誌 Trajectory
- 査読論文誌: 学術情報処理研究(JACN)
 - オープンアクセス, DOAJ 収録
- 情報倫理デジタルビデオ小品集
 - 日本データパシフィック社で販売(会員割引有)
 - 大学生協事業連合の新入生用PC に導入
- 著作権教材
 - 教員向け冊子体教材「すごくわかる 著作権と授業」
 - 学生向けビデオ教材「基礎から学ぶ著作権」シリーズ
 - SARTRAS 共通目的事業の助成を受けて開発, CC ライセンスで公開



詳細につきましては、以下をご覧ください

<https://axies.jp/>